

栃木県芳賀郡益子町議会

1 政策づくりと監視機能を十分に発揮している議会

地方分権推進が進む中、町民の代表機関として町の政策の最終決定と行財政運営の監視を行う議会の役割と責任は益々重要となっている。

そのような中、益子町では議会全員協議会を毎月 1 回開催し、前半では町長等執行機関に対して執行状況報告を求め、後半は議員のみの出席で、各議員出席の会議内容、常任委員会活動や広域組合等の状況について報告しあい、議員全員で情報の共有とそれに係る討議が活発に行われている。

また、常任委員会においても概ね毎月開催し、所管事務についての執行状況報告を求め、また調査研究のため町内外での事務調査や行政視察を実施し、積極的に情報収集と情報交換を行い、町執行部とも協議を重ねながら町民のための町政を目指すとともに、議会の活性化を図っている。

2 住民に開かれた議会

(1) 議会広報紙について

編集には委員 6 名で構成する議会だより編集特別委員会が当たり、定例会（臨時会含む）の報告と新年号を発行している。一般質問の記事については質問者が原稿を作成し、見出しについては内容により近く主旨を表現するなど、議員自らが責任ある広報紙づくりに努めている。

審議内容記事については、議案に対する議員の賛否一覧の公開や、請願・陳情の審査経過内容の掲載、委員会活動の報告など、記事の充実を図りレイアウトの工夫により分かりやすい紙面を目指している。

最終ページには傍聴者の感想や意見を掲載する『議会を傍聴して』のコーナーを設け、町民の身近な広報紙にこころがけ、発行後は自治会を通して全戸配布するとともに、町主要施設にも設置している。また、今年度よりバックナンバーについても HP に掲載することとし、町民の利便性を考慮した。

(2) 議会日程等の広報

議会運営委員会終了後（開会 7 日程前）より、『とちぎテレビ』のデータ放送を活用し会期・日程、一般質問登壇者名を放送し、議会傍聴者増を目指している。また同時に防災無線でも事前広報を行っており、更にきめ細かい広報活動を行っている。

ホームページ上では、昨年度より議事録閲覧システムを導入し、町民の議会への興味・関心を得るための方策を講じた。

(3) 模擬議会の実施

昨年、女性が町の方針や政策決定の場へ参画することにより、議会への意識の高揚を図る有効な手段として女性模擬議会を実施した。

3 地域振興のために特別な取組みをした議会

(1) 震災からの地域の再生

財政歳出削減により、町の災害復興への一層の対応を望み、平成 23 年度、24 年度と議員報酬を 15%削減した。2 ケ年度で約 1,300 万円の支援となった。

(2) 地域の活性化

町の「ましこ再生計画」に基づき、美しい町づくりの一環として企画された「コスモスまつり」や「ひまわりまつり」に議会も激励に出向いたり、河川美化活動として「小貝川クリーン作戦」に参加しごみの一斉清掃を実施するなど、地域のみなさんと活動を共にし地域活性化に取り組んでいる。

(3) 国際交流への取り組み

町はイギリス、セントアイヴスと平成 24 年 9 月友好都市締結をした。このことにより、今年、セントアイヴス議員（元町長）が来庁した際には、町議会として歓迎の意を表し懇親の場を設け交流を深めた。また、町執行部で企画したセントアイヴスへの交流ツアーを後押しするため議会議員 3 名が参加し、町の国際交流活性化に寄与した。